

令和5年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設名	大和市郷土民家園
指定管理者	公益財団法人スポーツ・よか・みどり財団
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

●施設の総括管理及び庶務

管理運営体制	原則2名
開園状況	毎週月曜日(休日の場合翌日)及び年末年始(12/29～1/3)を除く毎日
開園時間	午前9時～午後4時(7/21～8/31は午後5時まで)

●施設の利用受付及び庶務

◎年間利用者数

カウンター集計による利用者数…29,181人

◎施設利用者数の前年度比

カウンター集計数：5,786人減

◎施設利用受付・説明等

小中学校…市内3校、市外11校、計14校

その他団体…市内3団体、市外1団体、計4団体

◎施設利用者に対する歴史説明

来園者の要望に応じて、大和の歴史(古民家・農耕・養蚕)等の説明を実施。

●園内清掃、環境整備及び簡易な修繕等

園内清掃	定期園内清掃。手摺と蛇口を1時間に1度アルコール消毒。
施設内清掃	旧北島家・旧小川家両施設の清掃。茅葺屋根等防虫のため両施設を燻蒸(開園日一日交代)。
植物管理	除草、草刈、高木・低木剪定、生垣剪定、畑・水田管理等を実施。
簡易修繕	管理施設、備品等の簡易修繕を実施。
民具作製	竹とんぼ・竹笛・ブンブンごま等を作製。
巡回・警備	開園時間中、常時1名巡回警備。閉園時間中は機械警備を実施。
消防訓練	文化財防火デー(1/26)にちなんで1/25に実施。

●事業の実施

(自主事業)

	事業名	開催日	参加者(観覧含む) ・来園者数
1	民家園まつり	5/5	観覧 60 人／来園 659 人
2	小麦脱穀実演	6/18	観覧 23 人／来園 180 人
3	機織り機を作ろう	6/25	参加 10 人／定員 10 人
4	七夕の調べ	① 7/8 ② 7/9	① 観覧 22 人／来園 105 人 ② 観覧 26 人／来園 103 人
5	カイクを知ろう	7/17	14 組(25 人)／定員 15 組
6	人形浄瑠璃の上演	11/5	観覧 78 人／来園 255 人
7	粃摺り・精米実演	11/12	13 人／定員なし
8	まゆ工作	12/3	5 人／定員 10 人
9	樹芸の実演	1/28	観覧 10 人／来園 94 人
10	味噌作り	2/11	8 組(8 人)／定員 10 組
11	民家園の春まつり	3/3	観覧 106 人／来園 1,146 人
12	箏のしらべとともにお話の世界へ	(秋公演) 10/22 (冬公演) 11/26 (春公演) 3/9	(秋公演) 観覧 33 人／来園 162 人 (冬公演) 観覧 14 人／来園 91 人 (春公演) 観覧 43 人／来園 215 人
13	機織り実演	① 5/ 5 ② 9/ 1 ③ 9/15 ④ 10/26 ⑤ 12/ 1	① 来園 659 人 ② 来園 35 人 ③ 来園 126 人 ④ 来園 126 人 ⑤ 来園 56 人

(市内3館合同企画展示)

	企画展名	開催期間	来園者数
1	市内3館合同企画展 古民家で端午の節供	4/21～5/21 (27日)	3,900人 (190.3人)
2	市内3館合同企画展 古民家でひな祭り	2/14～3/10 (29日)	4,459人 (153.8人)

※開催期間のカッコ内は開催日数、来園者数のカッコ内は一開園日あたりの平均人数

(年中行事展示)

	事業名	展示期間	来園者数
1	端午の節供展示	4/8～5/7 (26日)	4,751人 (182.7人)
2	七夕飾り展示	6/24～7/9 (14日)	999人 (71.4人)
3	カイコの飼育展示	7/15～8/25 (36日)	1,901人 (52.8人)
4	お盆の砂盛り展示	8/5～8/15 (9日)	437人 (48.6人)
5	十五夜団子飾り展示	9/23～10/1 (8日)	639人 (79.9人)
6	十三夜団子飾り展示	10/21～10/29 (8日)	855人 (106.9人)
7	ヨーカゾーの目籠飾り展示①	11/25～12/8 (12日)	1,139人 (94.9人)
8	正月飾り展示・春の七草展示	12/23～1/7 (9日)	682人 (75.8人)
9	繭玉団子飾り展示	1/6～1/14 (8日)	1,073人 (134.1人)
10	ヨーカゾーの目籠飾り展示②	1/27～2/8 (11日)	895人 (81.4人)
11	お雛様飾り展示	2/3～3/3 (26日)	4,701人 (180.8人)

※開催期間のカッコ内は開催日数、来園者数のカッコ内は一開園日あたりの平均人数

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	9,999,000	人件費 (給料手当、臨時雇賃金、福利厚生費)	6,836,472
その他収入 (事業参加料・民家園販売売上等)	188,280	事業費 (会議費、旅費交通費、消耗品費、保険料、諸謝金、負担金)	99,340
		光熱水料費 (電気料、水道料)	273,600
		施設管理費 (通信運搬費、消耗品費、修繕費、燃料費、賃借料、保険料、租税公課、負担金、委託費)	1,908,058
収入計 (①)	10,187,280	支出計 (②)	9,117,470

収支決算 (①－②)	1,069,810
------------	-----------

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。評価にあたっては、令和6年7月18日に文化財保護審議会から意見聴取を行いました。

評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか	
評価	施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られている。
	<ul style="list-style-type: none">●施設の利用許可事務については、条例などに則り適切に行われていることが確認できた。●外部広報媒体を積極的に活用し、ホームページ、X(旧 Twitter)等でも事業の様子やお知らせを公開した。●無料参加型行事を実施したり、ワークシートの多言語版を作成するなどして、施設の平等利用を図っていることは評価できる。英語版は38部、スペイン語版は14部活用された。●利用者からの意見・苦情等については、内外への周知を含めて適切に対応し、サービスの向上に努めていることが確認できた。
評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか	
評価	施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われている。
	<ul style="list-style-type: none">●感染症の流行状況を確認しながら、規定の年中行事展示を実施した。●自主事業として、養蚕関係講座、味噌作り体験、春秋のまつりなどの人気定例事業のほか、古民家の来歴・特色・雰囲気を活かした朗読・演奏公演、小麦脱穀実演や兜・甲冑の着付け体験などの新規事業も積極的に実施している。また、泉の森内という立地の特徴を活かした郷土民家園オリジナル商品の作製など、多様な事業を行った。●市と連携して、つる舞の里歴史資料館・下鶴間ふるさと館との合同企画展も実施し、市内の文化財普及啓発活動にも取り組んだ。●花やみどりによる演出として、「アジサイ」「ヤマユリ」「ヒマワリ」「ヒガンバナ」「シバザクラ」など、四季折々に花修景を行った。●施設の燻蒸を兼ねて囲炉裏に火を入れる、床清掃に米ぬかを使用する、小麦の脱穀実演で展示農具を利用するなど、施設や展示資料を活かした動態展示を行った。●やまと公園のオープンなどによる人流の変化や、施設および利用環境の経年変化による来園者の減少はあるが、来園者が心地よく過ごせる環境の整備を継続し、市と連携しながらより積極的な広報活動を行うことを期待する。●しらかしのいえとの来館者数に大きな開きがあることから、泉の森全体でのフェスティバルや連携事業の実施、民家園への誘導展示を行うなど、新しいアイデアを取り入れながら、効果的な運営を継続することを期待する。

評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか

評価 施設の適切な維持及び管理が図られている。

- 各種点検、報告等は仕様書・協定書等に沿って漏れなく実施されている。施設の清掃や植物の管理及び施設の補修も適切に行われた。
- 園内の巡視や適正な点検を実施したことにより、重大な事件・事故なく事業運営した。
- 指定文化財である古民家の修繕の必要の有無などについて、市と連絡調整を密にし、適切な維持管理が図られた。

評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

評価 施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有している。

- 事業計画書のとおり適正に人員が配置されており、関係法令に基づく管理体制を遵守し、施設の管理を安定して行う人員・能力等を有している。
- 学芸員の有資格者を計画的に配置し、自主事業及び年中行事展示等を適切に行う体制を整えている。
- 地域住民をボランティアとして活用し、各人の得意分野を活かしている。また、地域団体との連携事業にも積極的に取り組んでおり、地域に根付いた事業を展開している。
- 施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況を保っている。